

広域連携で高まる 三遠南信の地域力

問合先
広域推進課 ☎51・2181



7月14日(水)からの集中豪雨により、飯田市では一部の水源
地が濁水となり、浄水場で水道水が作れない状態となりま
した。豊橋市は「三遠南信災害時相互応援協定」に基づき、7
月16日(金)に給水車1台と職員2人を飯田市へ派遣しました。
現地では他市からの応援隊とともに消火栓から配水池への
上水のピストン輸送を行いました



浜松市の消防ヘリコプター
「はまかせ」。災害時などには、三遠南信地域の支援に
活躍します

「三遠南信」とは、愛知県東三河・静岡県遠州・長野県南信州地域の総称です

■**県境を越え、三遠南信地域で連携**
東三河地域は静岡県と長野県に接して
おり、住民の活動は県境を越えて行われ
ています。この「三遠南信地域」は、天
竜川や豊川の流域として繋がりが、さら
に「塩の道」と呼ばれる伊那街道、別所
街道、秋葉街道などによって、古くから
交流が活発に行われ、多様な自然環境、
特色ある歴史や文化などもつ地域とな
っています。また、現在の三遠南信地域
は、人口約230万人、製造品出荷額等
は13兆円を超え、農業産出額についても
3千億円を超えるなど、都道府県に匹
敵する経済規模となっています（下表参
照）。

■**連携が進む東三河地域**
私たちが住む東三河地域の8市町村は、
豊川の流域に位置し、昔から人々の暮
らしや産業活動において深く結びつ
いて地域で、現在も82件の連携が行
なわれています。例えば、東三河エ
リア内からの119番緊急通報を豊橋
市中消防署内の消防指令センターで
共同受信し、災害・救急指令を一元
化している「消防通信指令事務」な
どの取り組みを行っています。

■都道府県に匹敵する三遠南信地域の経済規模

指標	順位	県名など	規模	全国シェア
製造品出荷額等	5位	埼玉県	138,021億円	4.9%
		三遠南信	137,974億円	4.9%
	6位	兵庫県	134,778億円	4.7%
年間商品販売額	17位	群馬県	60,455億円	1.1%
		三遠南信	58,822億円	1.1%
	18位	栃木県	54,723億円	1.0%
農業産出額	6位	愛知県	3,108億円	3.6%
		三遠南信	3,084億円	3.6%
	7位	熊本県	2,984億円	3.5%

出典：製造品出荷額等は平成17年工業統計、年間商品販売額は平成16年商業統計、農業産出額は平成18年生産農業所得統計から作成

このような中、三遠南信地域では、行政
経済、住民活動などさまざまな分野の交
流・連携を深め、自立性の高い確固たる
圏域を形成するため、平成20年3月、「三
遠南信250万流域都市圏の創造」を
テーマに地域の将来像である「三遠南信
地域連携ビジョン」を策定しました。さ
らに、その実現のため「三遠南信地域連
携ビジョン推進会議（SENNA）」を立
ち上げ、さまざまな取り組みを行って
います（左ページコラム参照）。

三遠南信地域連携ビジョン推進会議 SENAの取り組みを紹介します

問合せ先

SENA事務局

☎053・457・2242

🌐<http://www.sena-vision.jp/>



3月20日(土)・21日(日)に豊橋市で開催した「三遠南信『塩の道』物産展—ええじゃないか市—」のようす

SENAは、「三遠南信地域連携ビジョン」を推進するための組織で、三遠南信地域の27自治体、9商工会議所・43商工会などで構成されています。浜松市役所企画課内の事務局には、豊橋市、浜松市、飯田市の職員が常駐し、三遠南信地域連携ビジョンに掲げられた重点プロジェクトの実現、三遠南信サミットの開催、地域情報の収集発信などに取り組んでいます。3月20日(土)・21日(日)には、三遠南信地域の魅力ある一次・二次産品を紹介するイベント「三遠南信『塩の道』物産展—ええじゃないか市—」を、豊橋市のジャスコ豊橋南店で開催しました。

■三遠南信地域社会雇用創造事業
SENAでは、三遠南信地域内の新たな雇用を創出し、地域社会に貢献できる人材を育成するため、平成22・23年度の2か年にわたり「三遠南信地域社会雇用創造事業」を行っています。この事業は、さまざまな社会的課題に対し、ビジネス手法を活用して解決していく社会的企業活動を目指す「社会起業イニキュベーション事業」と「社会的企業人材創出・インターンシップ事業」の2つで構成されています。現在、この事業への参加者を募集しています。※事業の詳細および応募方法などはSENAホームページ参照

「SENA」は San-En-Nanshin-Area-Relationship-Vision-Progressive-Conference の略称です

■三遠南信地域での連携の代表例
三遠南信地域の連携は現在32件ありますが、その代表例を紹介します。

10年後を見据えた産業創出

三遠南信地域では、世界をリードする「ものづくり基盤技術」や「先端光・電子技術」などを生かして新たな基幹産業を目指し、「輸送機器用次世代技術産業」「健康・医療関連産業」「新農業」「光エネルギー産業」の4分野において連携して産業の創出を図っていきます。

県境を越えた災害協定による相互支援

災害時に三遠南信地域として協力しあう「三遠南信災害時相互応援協定」により、7月16日(金)、集中豪雨のため浄水場で水道水が作れなくなった飯田市へ、豊橋市から給水車1台と職員2人を災害派遣しました。また、豊橋市と浜松市の協定により、豊橋市で災害が起こった場合、浜松市の消防ヘリコプターを活用した応援を受けることができます。

三遠南信地域の背骨づくり

長野県飯田市を起点とし愛知県を經由して静岡県浜松市北区に至る「三遠南信道路」の早期実現に向けた取り組みを行っています。

このような、三遠南信地域で連携して「地

域力」を高める取り組みは、県境連携のモデルとして全国で注目されています。

■さらなる「地域力」の向上を考える

三遠南信地域の連携が深まる中、その基盤のひとつである東三河地域においても、近隣市町村との結びつきを強化し、これまで以上に「地域力」を高め、自立した圏域づくりに取り組んでいくことが求められています。そこで、東三河地域における地域資源を再発見し、また共通の課題についても考え、地域が一体的に発展するために豊橋市民として何ができるのかを考えるワークショップを行っています(左記参照)。

広域地域づくりワークショップ

—東三河のなかで今私たちができること—

とき／ところ:9月18日、10月9日・23日の土曜日午後1時30分～4時／豊橋市職員会館(八町通二丁目)。9月25日(土)午前9時～午後4時／東三河地域(フィールドワーク) 対象:市内在住・在学・在勤の中学生以上 テーマ:地域資源を発掘し魅力を発信しよう 定員:30人(抽選) その他:詳しくは本紙7月1日号27ページ、またはホームページ(<http://www.city.toyohashi.aichi.jp/kouikisuishin/ws/>)参照 申し込み:9月10日までに広域推進課(☎51・2181)